

# 大阪狭山市議会 議会報告会まとめ

日 程	平成27年11月7日(土)
時間・会場	午後2時～：SAYAKAホール
日 程	平成27年11月8日(日)
時間・会場	午後2時～：コミュニティセンター

# 目 次

■開催の状況	P 3
■議会報告会の様子	P 4
◎ 『第1部 議会の報告』より	P 4
▼9月定例会議会の報告	P 4
▽SAYAKAホール	P 5
▽コミュニティセンター	P 8
◎ 『第2部 市民との意見交換会』より	P 11
▽SAYAKAホール	P 11
▽コミュニティセンター	P 21

## ■開催の状況

### ●大阪狭山市文化会館（SAYAKAホール）（大会議室）

- ・開催時間 午後2時00分から午後4時00分まで
- ・出席議員 井上健太郎、上谷元忠、片岡由利子、北村栄司、須田 旭、徳村 賢、  
山本尚生 以上7名
- ・一般参加 22名

### ●大阪狭山市立コミュニティセンター（大会議室）

- ・開催時間 午後2時00分から午後4時00分まで
- ・出席議員 小原一浩、北 好雄、鳥山 健、西野滋胤、松井康祐、松尾 巧、  
丸山高廣 以上7名
- ・一般参加 22名

※議員名は50音順

## ■議会報告会の様子

### ◎『第1部 議会の報告』より

第1部では、平成26年度（2014年度）決算の状況など、9月定例会議会の内容について報告しました。また、報告後、説明が分かりにくかった点などについて質問等をいただきました。

### ▼9月定例会議会の報告

#### 1. 平成26年度（2014年度）一般会計決算について

平成26年度（2014年度）一般会計決算額は、歳入総額193億5,034万円、歳出総額は186億2,276万円となっています。

歳入歳出差引額は7億2,758万円で、翌年度へ繰り越すべき財源が6,668万円となっており、実質収支額は6億6,090万円の黒字となっています。

報告会では、決算の内容や主要な事業について資料をもとに説明をし、併せて、審査結果についても報告しました。

#### 2. 平成26年度（2014年度）の特別会計等決算について

平成26年度（2014年度）の国民健康保険特別会計決算や介護保険特別会計（事業勘定）決算をはじめ、各特別会計等の決算の内容について資料をもとに説明し、併せて、審査結果についても報告しました。

#### 3. 条例等の審査状況について

大阪狭山市個人情報保護条例の一部改正、大阪狭山市手数料条例の一部改正をはじめ、各種条例の改正内容や審査状況について報告しました。

報告後、参加いただいた皆さんから、次のようなご質問をいただきました。

質問・要望など	回答・説明など
<p>国民健康保険が近い将来、市町村から都道府県に管理が移るということを聞いた。これは具体化されているのか。</p> <p>保険医療とかが変わるのか。良くなるのであれば大いにやってほしい。悪くなるのであれば今のままでいい。その辺の具体化、どの時期になるのか教えてほしい。支払いで一番多いのは健康保険料だから、これ以上増えたら生活をやっていけない。</p>	<p>国民健康保険について、大阪の場合は大阪府に平成30年から一元化をされるということで、今準備中です。</p> <p>国民健康保険料が高いということですが、これは各議員からまたご意見をいただきたいと思いますが、全国の市議会議長会でも、先日、国のほうに、今まで国の負担を減らしてきているということがあって、市民の皆さんから国民健康保険料の負担が大きくなっているというのも事実ですので、国に対して要望をしています。</p> <p>隣の奈良県のほうが先進事例で、もう一元化する取組みを進めておられまして、やっぱり奈良のほうも大分過疎化の進んでいる地域とか、あと裕福な生駒市とかいろいろな市がありますので、各自治体がそれぞれ国民健康保険の負担料を安くするために今、市ごとに努力をしているのですが、非常に過疎化が進んでいるところだと、救急車が1度出動するだけで一気に国民健康保険料の負担が上がってしまうわけです。</p> <p>どうしても不公平がありますので、均一化しようということをやや広域に、大阪ですとまだ都市部が多いですけども、特に地方に行きますとその辺の格差がどうしても生じていますので、一旦都道府県へ上げて、そこで一元化して、国は基本的に一般財源からの繰り入れというのは余り推進していませんので、全体的には、国民健康保険料が安くなるように持っていきたいという趣旨で動いていることは事実です。奈良のほうはそれが認められているというふうに伺っております。</p> <p>色々な論議があると思いますが、一本化することについて賛否両論があります。それで、高い国民健康保険料というのは、どのアンケートをとりましたが、市民の皆さんからも何とかしてほしいという声が一番多いと思います。</p> <p>なぜこんなにも高くなってきたのかというのは、本来、国が国保財政に出していた補助金というのをどんどん削っていますので、結局保険料に負担がかかってきているという、現実的にはそうなっております。</p> <p>そして、本来、国民健康保険そのものは市町村が運営していますから、その地域によって医療の体制とかが全部違いますから、やっぱりその市町村で住民の健康を守るためにはどうするかという</p>

	<p>ことを考えて、医療費、健康保険料もどうしようとかいうことで、一般会計からの繰り入れを各自治体が軽減に努めながらやっているとか、さまざまな取り組みをやってきました。</p> <p>本来は国民健康保険ですから国が責任を持つべきものと私たちは思うのですが、その国の責任をどんどん減らしていくと。国民健康保険料で賄えるようにしてほしいという、考えのもとにどんどん削ってくると。各市町村でばらつきがあることについても、不公平感があるとかいうことを言って一本化していくということを狙っている。私たちはこの法律は改悪だと思っています。</p> <p>それで、例えば大阪府で一本化した場合、本市の国民健康保険料は高くなるか低くなるかというのは微妙なところだというふうに思うのです。各自治体で、国保の赤字をたくさん抱えているところ、抱えていないところ、そういうところも一本化していくというように、もしなっていくと、大きな赤字を抱えているところの赤字を黒字の自治体はその国民健康保険料も抱えることになりはしないかとか、いろんな疑問も出てくることです。</p> <p>それで、今回、私たちもなかなか説明が難しいのですが、保険財政共同安定化事業というのがありますが、これは俗にレセプトと言われてはいますけれども、今までは80万円以上使った場合、計算をして、それが今度は1円単位でやっていくというふうになって、それで負担金はどうなるかという計算をすると、本市の保険財政共同安定化事業に対する負担金というのは物すごく高くなると。1億円ぐらいたしか増えたと思うのです。大阪市は非常に下がるというふうな結果が今出てきています。</p> <p>それを一本化していくということになった場合、本市はどうなるか。本市は、一般会計で繰り入れをしながら赤字を出さずにずっと運営していますが、大阪府で一本化された場合、実際のところわかりません。</p> <p>全体としてよくなるのか悪くなるのかというのは、私たちは、本来は国が出していた負担金をまず元に戻すべきだと。それで運営しなければ、保険料を幾ら一本化して運営し、国民健康保険料で賄っていこうとなれば、かなり高い保険料になっていくのではないかと思っています。</p> <p>ただ、はっきりと本市だけはどうかと言いつけられない面がありますけれども、こういう一本化は、余りよくなるとは思っておりません。</p>
<p>個人情報保護条例に関連して、パブリックコメントを募集されていたので、幾つか意見として言わせていただいた。その中で、結論としては、急いでやることはないだろうという意見でまとめた</p>	<p>マイナンバーのセキュリティーに関しましては、私も総務省の説明会に参加して、聞かせていただきました。総務省は、年金の漏えいの問題がありましたので、かなりこれには力を入れており</p>

が、先ほど来お聞きしていたらセキュリティーの強化という言葉が出ている。もちろんそれは大事だが、市民に損害が発生したら行政として責任をとれるのかという投げかけをしたが、一切そこには触れられていない。

慎重にやってほしいと言っていたが、もし何かあったときに行政として、議会としてどういう責任をとろうとされているのか。そういう議論があったかどうかも含めてお聞きしたい。

まして、基幹事務という住基台帳とか、また税務台帳とか、そういったデータが入っているパソコンは一切インターネットと接続しないということでした。

一番厳しいのは、人的なミスで漏えいするという、そこが一番のネックだということをおっしゃいました。

本市の場合、情報の責任者はかなり精通された方です。もちろんインターネットにも基幹事務は既に接続していませんし、あとUSBメモリーもきちんと管理しておりました。すごくきっちりと管理しているのだなということがあって、また、総務省のほうは画面自体も、離席するときに、もし住基が載った画面をそのまま置いて離席をするということはいけないということで、そういった対応もするようにとか、データが入っているところは全部鍵をつけてというようなこともおっしゃいました。

そういう保護的なことは本市でも当然できることですし、また今後、暗号化もしていきたいとか、そういうふうな要望もさせていただいておりますので、近隣市に比べて本市の場合、漏えいの部分に関してはかなり手を入れている感がしております。また、責任体制もしっかりと取り組んでいくという、そういう要望もさせていただいております。

6月と9月の定例会議会、かなり論議になりました。私たち自身もかなりこの問題は取り上げていまして、ネット上の問題でいえば、サーバー攻撃というのはそれ専門で攻撃をしようという立場でやる人も中にはおりますので、そういう人たちから見れば、100%のセキュリティーというのは不可能というふうに大体専門家からも指摘がありますので、私たちもそう感じております。

それと、もうすぐ通知番号が皆さんのご家庭に届くか、もう届いた方もいらっしゃると思うんですが、既に配達間違いが起こっているとか、違う人に配達をしてしまったとか、住民自身が要望していないのに住民票に個人番号を記入していたとかいう自治体も出ているとか。まだ本当にスタートしたところでありまして、そういう問題が既に起こっているということを考えていきますと、これは本当に、非常に不安が募るのではないかなと思います。法律では決まっていますので、1月から一応実施するとなっています。だから非常に危険性があるというふうに思います。もうこれは中止をするべきだという意見も、かなり住民の皆さんの中にはあるというのは、事実だというふうに思います。

	<p>ただ、国からおりてきている分ですので、セキュリティは極力頑張っておりますよとっておられますので、そのことは本当にちゃんとしてほしいなという思いはありますが、不安はあるのも事実です。</p>
--	---

(コミュニティセンター)

質問・要望など	回答・説明など
<p>個人情報保護条例について、大阪狭山市独自の個人情報用の番号が、保護条例用の番号が新しく設定されるのか。</p>	<p>国民1人ずつ。法律で決まっているマイナンバーのことです。</p> <p>本来であれば、10月に配布する番号でしたが、ちょっと国の方がおくれていまして、11月になってから皆さんには配布されるようになっていきます。もうすぐお手元に番号が届くと思います。</p>
<p>市内の公園遊具設置事業というのがあるが、大阪狭山市の公園は何カ所かあり、また茱萸木7丁目にある草沢の児童遊園みたいに民間からの借り上げの公園もある。それで、茱萸木地域から草沢の公園について、委託管理されている方が除草剤をまかれる。それも黙ってまかれるので、次の日、子どもらが行って遊んでいる中で住民から、いやそこはきのう除草剤をまいたから遊ばないでとか、そんな問題もこの何年かずっと続いている。</p> <p>やっぱり市長も住みやすいまちづくりとか子どもたちの健やかな育ちを地域一体になって応援するまちづくりとか所信表明で言われているように、本当に子どもたちが安心してこれから住み続けられるような大阪狭山市にしていくためにも、これは議会としても何らかの措置をしてもらおうとか、委託された方と話し合っって健康に努めていけるような、そういう体制にしていきたい。</p>	<p>公園の管理のことについて、除草剤を使っているということですね。これについては、基本的にこども育成室が管理をしています。除草剤は基本的には使わないということです。委託をしている市民協働という概念の中で、数十公園と委託しています。それについて、除草剤をまかないとかいろいろなルールをもう一回、今、おっしゃったように確認するよということには議会のほうから申し伝えるようにします。現況を確認されている公園について後ほど教えていただければありがたいなと思います。</p> <p>《こども育成室から》  <b>児童遊園は、地区が管理を行っており、除草については市からは除草剤を使用しないようお願いをしています。</b></p>
<p>ちょっと子どもに関する問題で、何年も前から言っているが、保育所の※①認定の時期について、今年も広報で12月から保育所の受付を始めますと。実際問題、12月から受け付けて2月に※①認定された場合、継続で働くというのは無理がある。今まで仕事に行っていた、出産のためお休みする、4月から働きたいと言っても、2月何日にそれなら保育所へ入れると言われても、その時点では会社側としては新しい人を採用しないといけない。なかなか復職できないので困っているお母さんがたくさんいらっしゃる。</p> <p>今、どんどん新しい住宅も建ってきている中で、もうちょっと保育所の※①認定の時期を早めてもらうように、これも何とか議会でやってほしいと思う。</p>	<p>保育園の入所内定の時期、これについては以前から議論になっています。</p> <p>保育所の受付は12月でいいと思うのですが、認定の時期を早くすると。他市は、11月、12月が大体多いです。ただ、育児休業に入られた人が4月から働けないというようなことになってはいけないので、これまで継続の場合は大体継続でいきますけれども、育児休業で休んでいるとその間が入所されていないということになりますね。だから、その人たちを救えるような方法を考えないといけないと思います。</p> <p>市のほうにもできるだけ認定時期を早くするよということに要請していますが、現実にはなかなか認定時期が1週間とかその程度しか早くなっていないので、これはさらに要求していきたい</p>

<p>それに関して、去年お聞きしたときに、幼稚園の認定（入園許可）が終わってその後でやると。去年、実際に市の民生の方も出てこられてその中でおっしゃったのは、幼稚園を先にやりますと、それで、幼稚園の審査が終わった後に保育所はやりますと。幼稚園は誰も申し込みがないのに、幼稚園をやらないと保育所ができないというそういう論理はおかしいのではないか。やっぱり同時に進めていくのが本来の筋であって、保育所の※①認定を待ち望んでお父さんお母さんというのは一日でも早く知りたいというがあるので、その1点、確認していただきたい。</p> <p>※①認定ではなく、入所内定のことを示します。入所内定とは、どの保育所等に入所できる利用調整(選考)を内定通知しています。</p>	<p>というふうに思っています。</p> <p>これは各会派からも要望が出ております。今後とも続けて要望していきたいと思っております。</p> <p>《こども育成グループから》 入所内定とは、どの保育所等に入所できる利用調整(選考)を内定通知しています。 産前・産後休暇(産休)の期間は、上の子どもは継続して入所できます。</p> <p>保育所・こども園(要保育0歳児～5歳児)の認定の流れについて 申請・利用申込→12月から 調査、提出書類の確認→12月中旬から1月末 利用調整(選考)→2月初～2月10日頃 利用調整結果(入所内定)→2月中旬(通知) 利用承諾書発行(決定通知)→3月末(通知)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園及び保育所等の受付時期は、近隣市町村もほぼ同時期に実施しています。</li> <li>・平成27年度(昨年)の利用調整結果(入所内定)の通知は、2月下旬から中旬に早めました。</li> <li>・本市では利用調整を行うに当たって、保育が必要かどうかの調査を行っています。そのため、結果を出すまでに一定の期間を要します。</li> <li>・幼稚園については、民間保育園も含め、府内では10月から一斉に受付を行っています。市立幼稚園は、現在希望する園に入園可能なことから調査・利用調整をする必要がありません。</li> </ul> <p>以上のことをご理解ください。</p>
<p>議案第58号、マイナンバーのことが出たが、これ賛成が多数で、反対されている議員もおられるので、どういう理由で反対したのかお聞きしたい。</p>	<p>マイナンバー制度については、国民1人当たり、赤ちゃんからお年寄りまで12桁の番号がつけられます。これがいろんな機関で、個人番号でそのまま全ての情報が集約をされます。これまでも、今現在でも行政が手違いをして発送を間違ったとか、そうなりますと情報が漏れるという危険があるわけです。</p> <p>それともう一つは、民間企業等もこれは全部管理をしないといけないというふうになります。働いている従業員とか、あるいはアルバイトやパートの方も、例えば申告のときに扶養であるのかなのかとかいうようなことで、この番号を全部企業が管理をすると、いわゆる民間企業も管理をするようになります。大手の企業であれば当然、人も配置をして管理体制ができます。しかし、中小企業ではそこまでしっかり人の配置や、いろんなことを全部管理できるようにならないと、情報が漏れるという危険性があります。</p> <p>アメリカや韓国では導入をされておりますが、</p>

それでは、賛成した方に、どなたか代表で答えていただきたい。

議案第58号のマイナンバー制の関係で意見が出ているが、一番大事なことは市の関係で言うと住民サービス、例えば住民票をとる、何か届出をする、そのときに12桁を書かないと書類を受け付けられないということになれば、個人番号を送ってこられて保管はしておく。その番号を、いつどのようにして引き出していくかということが問題になってくる。例えば、こういう番号を書かなくても、今までと同じような届けができるような体制をやっていただきたい。

若い方なんか会社が次から次に変わる場合がある。会社に届けをするときには個人番号が必要

いろいろな被害、情報の漏えいと成り済まし、こういう事件が多発しておりまして、今までは見直しを行っているという状況のもとで日本がこういうことを全てやっていくということになりますと、情報の漏えい、危険性、またハッカーとかいろいろなものでそれを悪用しようとして入ってきます。もっときちんとセキュリティーが確立してからやるべきで、早急に拙速に進めるべきではないというようなことで反対をいたしました。

いろいろ意見があります。私自身もこれは大丈夫かなと思っている部分もありますが、基本的に中央のほうで法律として決めているわけです。それで、個人情報をもっと保護しないといけないということで、これに関連して条例で厳しくしているわけです。中央で決めて全国で実施するということになっています。既にもう始まっているところもあります。

それで、市議会としてはどういう検討をすべきか、ということですが、介護保険料が高過ぎるとか健康保険料が上がり過ぎるとか、もっと国庫負担しないといけないとかいう意見もあります。しかし、国として決めたものについて、そんなもの危ないのと違うかということで我々は反対せずに、とにかく個人情報というのは非常に重要だから、それは守っていただきたいということで賛成をしております。

本市議会が全員反対したからといってそれが覆るようなことではないのです。しかし、我々としても、そういう懸念というのはあるということで意見を言っていますけれども、いざ賛成か反対かということになると、今は賛成するということです。

いわゆる受付の用紙というのは、これは番号がなくても処理はできるというふうになっています。それと、暗号化されますのでカードだけではなくてその中に磁気が入ってしまっていて、暗号がわからないとその情報は出てこないということになっています。番号だけで情報が全部出るということではないです。その中身をちゃんと使うということと、通知が11月の中ごろから12月にかけて届くと思いますが、その中に申請の用紙が入っております。この申請は任意であります。嫌だということであれば、その申請をしなくても済むというふうにも法的にはなっておりますので、その点もご理解をしておいていただきたいと思えます。

会社に対しても罰則等々ありますし、その番号で全てが一括でわかるというものではありません

<p>になるので、会社のほうでやめたからと言って抹消していただけるかどうかというのが物すごく不安で未知数である。</p> <p>国がやっておるから仕方がないと言われたが、我々が議員を選ぶのは、国に対してどれだけ物を言っていたかということで期待をしている。そういうことで、国民健康保険とか介護保険、国が決めたら仕方がない、あとは全部住民が負担をして保険料を引き上げていく、こういうのでは市民はたまったものではない。</p>	<p>ん。その都度、例えば健康保険の申請をされる分について、一つ引っ張り上げてこないとできないというようなシステムになっています。</p> <p>それと、会社のほうについては、そういう指導を徹底してもらい、そのために個人情報保護条例を各市町村でつくったということと、庁内においては、基幹系のネットワークはインターネットに接続しないということ、またUSBの管理等々、厳密な管理をしていくと。これは庁舎内のことでございますけれども、そういうチェックを各議員からもかけたところです。</p> <p>個人番号につきましては、大事に保管等をお願いします。</p>
--	--

## ◎『第2部 市民との意見交換会』より

第2部では、「魅力あるまちづくりについて」をテーマとして、自由に意見を述べていただき、活発な意見交換が行われました。各会場における質疑、意見や要望等の状況は次のとおりです。

### (SAYAKAホール)

意見・要望など	回答・説明など
<p>魅力あるまちづくりということで、3点ほど感じていたことを申し上げて、皆様のご意見を拝聴したい。</p> <p>1点目は、きょうの資料の中で狭山の3中学の円卓会議について。これも魅力あるまちづくりをテーマとして3地域でいろいろご検討いただいているが、南中が500万円、第三中学が118万円、狭山中学が279万円という予算額が載っている。</p> <p>当初これをスタートするときには、限度額が500万円であるというような話を聞いていた。この差は一体どういうことなのか。一方では500万円いっぱいっている。内訳が詳しく載っていないが、もう一方では118万円と非常に少ない。一体どういうことか説明を聞きたい。</p>	<p>円卓会議の件ですが、南中学校区の円卓会議については、法人化されて交付金という形で500万円を交付されています。</p> <p>狭山中学校区と第三中学校区の円卓会議については、事業提案されてその事業について、市が事業費を出すという形になっていますので、先週行われた「さやりんピック」のようなイベントとして、運動会をしますという事業があったら、そのことに対して申請されたお金を市が支払いするという形になります。狭山中学校区と第三中学校区の円卓会議の流れになります。</p> <p>南中学校区の円卓会議は、この決算500万円という部分については、議会の前に確認させてもらったところ、69万4千円の不用額が出ておりますので、出納閉鎖後に返納されているという報告を受けています。</p> <p>狭山中学校区のほうは、個々にいろんな事業を提案してということで、平成26年度は280万円の事業提案になっていますが、平成27年度につきましては500万円を超えるぐらいということで、上限まで使い切っているという形です。</p> <p>第三中学校区については、まだ500万円より</p>

	<p>も余裕があり、118万円くらいの補助金で、この1年推移している状況だと思います。</p>
<p>2点目は、隣に市民活動支援センターがあるが、最近は特に年配の方が研修、あるいは勉強とか絵画など、色々な催しにたくさんご参加されておられる。とてもいいことではないかと思っている。</p> <p>疑問を持っているのは、平成10年に支援センターがスタートしているが、その当時には約340万円の補助金が出ていた。それが3年後には六百数十万円になっている。その後、平成24年でしたか、一千二、三百万円に急に増えている。この内訳が決算書に載っていない。説明してほしい。</p>	<p>市民活動支援センターについてですが、当初は大きな事業がありませんでしたが、今はまちづくり大学などが入っています。それから、VICというボランティア・インフォメーション・コーナー（ボランティアの情報センター）が創設されたので事業が増えています。これらの事業費として補助が少しずつ増えています。</p> <p>ただ、倍になっているということまで調べていませんでしたので、また調べておきたいと思います。</p> <p><b>《市民協働・生涯学習グループから》</b></p> <p>市民活動支援センターは、平成14年度から市立社会教育センター内に開設しました。この1年間は民間委託で1442万7千円を支出し、その後、嘱託職員とアルバイトにより市が直営で2年運営しました。平成17年度からは市役所南館へ移設し、公募による3年間ごとの運営委託を開始し、平成17年度から平成19年度の委託料は、年額342万2千円で平成20年度から平成22年度は、支援センターの利用者増等に伴うスタッフ増員により、年額624万7千円としました。平成22年度は、新たにボランティア活動支援事業（ボランティア インフォメーションコーナー開設）を399万8千円で別途委託し、計1024万4千円となりました。平成23年度から平成25年度は新規委託分を一本化し、年額1024万5千円を支出しました。</p> <p>現在、平成26年度から27年度は消費税の引き上げ分を考慮し、年額1053万8千円となっています。</p> <p>なお、まちづくり大学等の市民活動支援センター事業については、平成17年度から予算の範囲内で補助金として交付し、その額は100万円から140万円の決算額となっています。</p>
<p>3点目は、身近なことで、私、毎日朝、狭山池を歩いています。土曜、日曜日が多いときには1日大体3000人から3500人ぐらい、狭山池を運動がてら歩いている方がいらっしゃる。きょうも朝から行って写真をちゃんと撮ってきたが、いよいよ木橋の工事が始まる。予算書には五千八百六十何万円載っている。大阪狭山市では調査費で800万円載っている。</p> <p>ところが、あそこに立札があるが、工事中は通行禁止と書いてある。11月16日から2月までの工事が始まるが、全面的に通行禁止になっちゃうんですかという質問を受けた。3地区ぐらいに分けて工事を進めるとは聞いていたがどうか。</p> <p>それから、橋の欄干のところ雨が雨ざらしになっ</p>	<p>狭山池の件ですが、私が聞いている範囲では、特に先ほどの質問者以上のことはありません。工事の様子で、全面通行止という表現が随所に出ているということで、これは恐らく健康管理で現在非常に散歩を楽しみにされている方も多いわけですが、11月15日から来年の2月29日まで全面通行止ということになっているところですので、もうちょっと行政のほうで通行止の期間を短くして、部分的に通行可という形にしていきたいと思っています。現在、把握している範囲では、いつ、どれだけ通行止になるということについてはわかっておりません。</p>

ているので、木が腐ってきているから直すということで、大阪府のほうから5800万円ほどの予算をいただいているようであるが、通行禁止に本当になるのか、あるいは工事をしているところだけが通行できないのか、その辺の工夫をして狭山池を一周できるようになればなど思っているが、皆さんの意見を聞かせてほしい。

狭山池の件について、大阪狭山市の窓口がそういう言い方をしなかった。全面通行禁止にしないと工事ができないと、重機を使うから全面通行禁止だという言い方であった。

夏休みの子ども対策ということで、夏季の放課後児童会に申し込みに行ったら、締め切り前にもう定員いっぱいということであった。どこの学校も満員だということだが、私も働いており、周りに孫を見る者がいないので、会社へ連れて行ったり、いろんなことをしながら夏休みの40日、50日を過ごした。

日ごろ、放課後児童会へ行っている子どもさんも、夏休みの申し込みをしたら、定員がいっぱいで入れてもらえないということがあった。福祉ということでは、弱者の救済もすごく必要になっているのですが、その財源というのはやはり働く者の税金で賄われているということで、その方は近くにおじいさん、おばあさんがいらっしゃるので見てもらえたが、現役世代をもう少し手厚く、働くために子どもを見るということも考えていただきたい。

お役所仕事で、空きがないからということで突き放されて、結局働きたくても働けない。やはり魅力あるまちづくりというのは、そういう現役世代の若い世代がたくさん、大阪狭山市って子どもがいても安心して働けるまちだというのがなければ人口も増えないと思うし、本当にこの50日困ったので、多分、子どもさんたちも何人か定員ということで断られて、何とか一生懸命、夏休みの間をご苦労なされた方もたくさんいらっしゃると思う。だから、本当に、働く者の世代にももう少し手厚くしていただかないと魅力がない。

保育園児を見るということと、手が余りかからないので、そんなに20人も30人も待っているということなら問題もあるが、わずかな人数なら少し何とかできるのではないかと。本当に現役で働いている人、朝から晩まで子どもを1人にしておけないです。

本当に長い夏休み、皆さん大変だった。

#### 《公園緑地グループから》

この度の狭山池公園改修工事に関して、普段から公園をご利用いただいている皆様をはじめ、多くの方々に大変ご不便、ご迷惑をおかけしております。工事については、工法など色々なケースを検討した結果、工事区間を3つに分割して発注することと、工事の着手日を統一することにより、公園を利用期間が最短となるような取り組み、遊歩道改修工事においては、狭山池南半分を12月11日、北半分を同月25日から利用いただけるよういたしました。

**木製通路補修工事についても現在工事中ですが、工事完了次第、ご利用頂く予定です。**

実際に、そういう現象が本市の各小学校で起こりました。

その一番大きな原因は、今までパートで働いておられる保護者が正社員に変わられた場合があります。そういう方が増えたことで、放課後児童会を希望される方が急に増えてきて、それぞれの学校で10名からそれ以上の待機者が出ました。

特に東小学校は、もともと本市の中では放課後児童会の児童数が一番多く、現在、プレハブで4教室設けてその対策をしているところです。

なぜ臨機応変に対応できないかということ、放課後児童会用の教室が要するというと同時に指導者も要するというで、なかなか急には対応できないことが1点、もう1点は、今までは、毎年途中で辞退者が出てこられるので、しばらく待っていただいて入ってもらえるというようなケースがありました。今年、特にそういう傾向がなく、途中で入ってもらえなかったということがあります。待機者の解消に向かって今鋭意頑張ってくれていますので、よろしくお願いします。

今まで、実情は定員をオーバーして入ってもらっていましたが、その説明をしているのかどうかわかりませんが、それでもまだカバーできなくなって、もうこれ以上は無理だということに入れたい方が出てきているというのが今年度の現状です。

また、仮にどこかの小学校があいているからといっても、余り距離が離れたところへ行ってもお友達の関係もありますし、非常に難しいところもあります。

今年の4月からは子ども子育て支援新制度という制度で、放課後児童会も保育所も全て条例を整備して国の示した基準に基づいて対応せざるを得ないという状況の中で、子どもの人数に対して保育士、指導員というのが全て法律で決められてお

現役世代が住めない税金が入ってこない。現役世代をもっと厚くしていただいて、明るい大阪狭山市をつくっていただきたい。

100人とか200人オーバーだったら問題でしょうけれど、数人であれば問題はないと思う。個別対応をできるような体制をつくることはできないか。

何とか柔軟に対応してほしい。

り、行政としてはそのことを守らざるを得ません。私たちは、そういう仕組みの問題はきちんと説明をしてほしいと行政には伝えています。

また、放課後児童会は小学校6年生までという枠を条例で規定しています。以前でしたら3年生まででした。今は6年生まで希望があれば対応することにはなっていますが、本当に現実問題として追いついていない状況です。

東小学校については、この地域は開発がかなり進んでおり、学校の生徒数も一番多いということもありまして、特に東小学校はたくさんの放課後児童会への入会の希望があります。

今までは学校の余裕教室を使って対応してきましたが、その教室は生徒が増えてきたから放課後児童会で使えない、だから多目的室を使って対応するということですがごく努力をしてきましたが、それでも今年は当初から待機児童が出ている状況です。現実問題でいえば3名の待機者が最初からもう出ているという状態があつて、途中で希望があつても応え切れなかったというのが現実です。

柔軟に対応できたらという部分が非常に難しかったのではないかと思います。何とか応えられるように、私たちもたくさんの要望があるということをお伝えながら対応をしていきたいと思ひます。

切実な思ひは非常にわかりますし、放課後児童会もそうですが、事業報告の中に、さやま元気っこ推進事業443万4千円という事業が上がっています。南第三小学校、西小学校で放課後児童会事業、こども広場事業、学習支援チューター事業という事業が連携を行つて新しい形の放課後に学校をつくるということに今努めております。

今はまだ週に1日とか2日ですけれども、ボランティアの方が中心になつて地域の子どもを地域で見守ろうという流れで、子どもの放課後の居場所をつくるということにも取り組んでいます。それは、働いている方であろうと働いていない方であろうと関係なく、子どもたちの放課後の居場所事業というのが始まっています。

そこには、職業を終えられて、夕方2時間ぐらひは子どもの面倒を見てあげられる時間がある人たちがボランティア登録してもらつと、放課後児童会とはまた違う活動ですが、放課後の子どもの居場所をつくらうという動きは本市でつくられています。

これを充実させることで、それぞれのライフスタイルに合った形で子どもたちに居場所をつくれるから、時々放課後事業に来ているクラスの子どもも遊べる、そういう放課後をつくつてあげたい

	<p>など思っています。</p> <p>ご意見、お気持ちはすごくわかります。私もよく、保育所に関してもそうですが、同じように入れられないという、その方の家庭の状況というのは大変だというのはよくわかります。</p> <p>ただ、法律で規定されておりまして、必要なスペースを確保しないといけないです。それは、事故が起こらないためにということで最低の規定があるわけです。それをしっかりと守らないといけないということと、やはり東小学校は大変運動場が狭いです。その中であえて放課後児童会の教室を4クラスあるプレハブを建てるところです。運動場をもっと広くしろというお声もあるのですが、その中で、今回、増設するというので、ご理解をいただきたいと思います。</p> <p>今回、いただいたご意見とかご要望については、市議会としてもしっかりと受けとめさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。</p> <p><b>《社会教育・スポーツ振興グループから》 放課後児童会に在籍している児童については、改めて夏季の児童会の申請手続きをする必要はありません。</b></p>
<p>子どもの貧困対策の推進に関する法律が、平成25年にできている。これに関連して、実は大阪狭山市にいつでも誰でも安心して生きていける社会保障制度の確立に向けてということで、5月に大阪狭山児童福祉推進協議会を立ち上げて、私は事務局長にならせてもらっている。8月25日に市役所と高齢者の問題、介護保険、国民健康保険、子どもの貧困の問題など、色々と話し合った。</p> <p>その中で、今、格差がすごく広がって、大阪狭山市で人口動態を調べてみたら、今、結婚する方が少ない。ずっと独身の方が増えているが、その婚姻に対する離婚数を見たら、2.5組に1組が離婚している。</p> <p>その中で、離婚された方の6割には10歳以下の子どもがいる。それで、女性が親権者になっているのが大体8割である。シングルマザーの大変な状況というのは報道されているが、その中で子どもの貧困に対してしっかりと国も地方自治体もやっぴいこうということで平成25年に法律ができています。</p> <p>教育の機会均等、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備する。これがおおよその目的である。そのために地方公共団体の責務というのが書かれている。これは第4条、地域の状況に応じた施策を策定しなさいというようなこ</p>	<p>子どもの貧困問題については、早速9月定例月議会に取り上げています。ご指摘のように、担当部署が決まっていなことは問題だという指摘をしています。</p>

<p>とが書いてある。</p> <p>大阪狭山市と話し合いをしたときに、担当部局はどこですかと聞いたが決まっていないとのことである。平成25年にできた法律で、担当部局すら決まっていない。これはぜひ何とか議会の皆さん、その辺はしっかり見守っていただきたい。</p> <p>それと関連して、就学援助について、大阪が特に大変な状況で就学援助を受けるというのは、本当に生活保護を受けるか受けないかという所得の少ない方の家庭に対する子どもに就学援助がある。これが大阪府内でいうと4人に1人という、非常に貧しい状況が出ている。</p> <p>大阪狭山市はどうかと聞きに行ったら、6人に1人が就学援助を受けるぐらいの苦しい状況。就学援助費というのは、普通、子どもが小学校に入学するときに、ランドセルを買ったりするのに必要なのに、支給されるのは9月である。所得を確定しないと、というようなことは当然だが、大阪狭山市と同じような人口構成の池田市が、現在の状況では所得が上がるということは余り考えられないので、今年4月から前年度の所得を踏まえて就学援助をできるだけ早く支給するというような努力をされている。その辺のことも調べていただいて、何とか子どもを新学期が始まる時に、負担の多いときに、9月に支給ということではなしにやっていただけたらなと思う。</p> <p>大阪狭山市では子ども医療費が中学までになった。皆さん努力していただいたと思うが、これが兵庫県なんかを見ると一部負担がない。兵庫県なんかはそういう自治体が増えている。ところが、狭山はまだ一部負担がある。</p> <p>富田林の学校医の先生と話をする機会があって、学校で健診があって、虫歯があるから治療に行くように言うけれども、保険証がないとか色々な状況があるが、歯は早く治療しないといけないので、そういうことを含めて子どもの医療費、一部負担がないような形にぜひ実現してほしい。そんなことを子ども貧困対策に絡んでいろいろ思っている。</p>	<p>就学援助についてですが、これも議会で取り上げた議員もおります。少しでも早める努力をしましょうという答えはもらっています。池田市の状況も、市としても問い合わせをしています。ただ、何か色々な理由があるようです。これは、皆さんも直接意見を聞きに行っていただければ良いのではないかというふうに思っています。私たちもさらに努力はしたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。</p> <p>子どもの医療費の一部負担について、中学校卒業までの医療費助成というのは兵庫県が実施しています。大阪府は、4月からようやく2歳までから就学前までに年齢を引き上げたところです。全国的に見れば最下位クラスで、大阪府として、せめて小学校卒業ぐらいまではやってほしいというふうに思います。</p> <p>そういう点では、大阪府へ補助を増やしてほしいと、市議会としても意見書を提出しています。ただ、なかなか大阪府のほうに応じてくれていません。後は市町村の努力で今中学校卒業までやっているという感じになっていきますので、これは大阪府への要望をかなり強める必要があると思っています。</p>
<p>魅力あるまちづくり、これはもうお互いにいいテーマだと思っている。今年ちょっとショックを受けたのは、市役所がありSAYAKAホールがある。このメインストリートの歩道に約1メートル近い草が生えているのに誰も気がつかない。そして、狭山池の下から太満池へ行く川が流れているところの歩道も四、五十センチぐらいの草が生えていた。</p>	<p>草引きについてですが、実は委員会でこんな提案をしました。退職した職員は行政、地域をよく知っていますから、そういう人たちが見回りをしながらすぐに対応するというようなことをやってはどうでしょうか。</p> <p>現実問題としては、職員、退職された方で実際に夏の暑いときに草引きに回っています。それを日常的にそういうシステムがあればもう少し対応</p>

<p>市役所に電話入れて、翌日にすぐ刈っていただいたが、魅力あるまちづくりという課題でやるならば、もう少しそういうきめ細かいところに職員を初め議員方も気をつけていただいたらなという気がしている。</p> <p>ファミリーマートの前も横断歩道の白線が消えている。ここで、この5年間のうちに2回事故を起こして2人亡くなっている。それから東小学校の前の歩道も小学校1年生の男の子が車に接触されてけがをした。だから、慌てて東小学校の前も西コーナーのところまで白線を引いてもらった。</p> <p>それから皆さん、できたらもう少しごみを拾ってくれとは言わないが、そういうきめ細かい配慮をひとつお願いしたい。高度な質問、議論ばかりやることも大事かもしれないが、私たちが住んでいる身近なところからきれいにしていくという心構えをお願いしておきたいなと思っている。</p>	<p>できるという思いもあり、提案しています。ただ、実際にそういう対策がとれるかどうかというのは、やはり財政的な問題と退職者の皆さんの協力が得られるかどうかというのは一つの課題かなと思っています。魅力あるまちづくりという点では、そういうきめ細かな対策というのは確かにあればいいなと思っています。</p> <p>そういうご意見は実際に住民の皆さんからどんどん出していただくことが大事かなと思いますので、余り追求型でなくて、提案型でどんどん市にご提案いただければと思います。私たちはそういう市民の皆さんの意見で、いい意見だと思えば後押しすることができますので、よろしくお願いたします。</p>
<p>最近、特に思うことは、草だけではなく、歩道の白線が消えている。昔は、毎日、暑い日も寒い日も役所まで歩いて来られていた議員がおられた。その間にいろんな人とお会いになって、会話をしながら色々な情報をもらって議員活動をされていた先輩がおられた。</p> <p>私が思うのは、皆さんも歩く、もしくは自転車で来れば、どこの木が枯れているか、どこの木が伸びているか、そういうこともきめ細かく気配りをしていただけたらと思っている。</p> <p>また、狭山遊園線の大阪狭山市駅から文化会館の横の木について、あれだけ立派な木の枝が切られている。あそこにモズが来て、ふんが落ちる。それを住民が役所へ言いに行ったら枝をすっかり払ってしまった。せっかく緑を大切に、緑豊かなまちづくりと言ってきたのが、今、芽がちょっと出たところである。なぜ、緑を残すためにももう少し職員が知恵を出してくれなかったかなと。</p> <p>何かちょっと気配りというか心配りというか、そういうものを今後とも議会と行政と両輪のごとくで、ちょっとしたことでもお互いに意見交換して相談し合ってやっていただければと思う。</p>	<p>木の問題については、地元で鳥のふんの問題を本当にどうにかしてほしいと強い要望が出ましたので、ぜひ、そういう地元の皆さんの声も一緒に、また相談していただきながら、それでいい提案があれば、タカを飛ばすとか、対応策があるんですが、なかなか知恵が出ないもので、ああいう形になっていますが、いい提案があればぜひ教えていただきたいと思っています。</p>
<p>先ほどから子どもの教育とか子どもを守るといった防災・防犯の観点からいろいろと意見が出ている中で、各交差点とか通学路、朝夕の、いわゆる見守り隊について。これも恐らくボランティアオンリーかと思うが、行政からかどこからか光が当たっているのかなと。</p> <p>なぜそれに気がついたのかというと、行政のほうから誰か善行の推薦依頼が来て、身近なところで、そこが一番と思い、行政へ話をしに行った。雨の日も風の日も寒い日も暑い日も、議員よりも活動日数は多いのではないかと思うぐらい毎日頑</p>	<p>今お聞きした意見については、見守り隊の方への昼食会とかをされているというのは我々も知っておりますし、議員の中でも見守り隊をされている方もいらっしゃいますが、全体としてボランティア、それ以外のボランティアもいろいろいらっしゃるの、それについて高齢化してきているというのは当然事実の話だと思っておりますので、また議会としても取り上げさせていただきたいと思っております。</p>

<p>張ってもらっている。</p> <p>地区でボランティア活動しておられる方に集まっていたきながら意見交換をした中で、子どもを守るという意識が非常に強く、真剣であった。例えば登校、下校するときの通学路について、こっちのほうは絶対合理的で安全だとの意見があって、行政のほうに反映させた。行政も認めてくれて、通学路の変更を許可してくれた。</p> <p>そういった意味で、恐らく大阪狭山市全域にこういう形で活動しておられる方がいらっしやると思う。それらの方に何らかのモチベーションを維持向上させるための施策、今後も絶対子どもを守るために続けていきたい方々や高齢者の方々に頑張ってもらっているというのが現実、事実である。</p> <p>そういった方々の何らかの応援策というか、支援策を、皆さんの知恵で何とかバックアップしていただけたらと思うので、お願いする。</p>	
<p>狭山池の世界遺産登録について、諦めているのか、まだやろうと思っているのか一人ずつ答えてほしい。</p>	<p>徳村 賢議員  まだ現状では答えを出せないという考え方もあります。だから、現状では難しいでしょう。ただ、先にはどうなるかはわかりません。</p> <p>片岡由利子議員  私のほうは、まず日本遺産登録をしていただきたいというのが私の議会質問であり、チャレンジしたいということです。これは、東京のオリンピックが今度開催されますけれども、それに向けて海外の方から多くの方に本市をアピールするというか、そのためにも日本遺産の登録というか、それをめざしていただきたいというのがありまして、世界遺産というのはちょっと余りにも遠い話ですので、まず足元を固めるということで日本遺産を取り組んでチャレンジするという答弁はいただいております。</p> <p>山本尚生議員  大変難しいお話で、私もかつて堺におりまして、企画におりまして、百舌鳥古墳群、あれを世界遺産登録するといったときに私も委員の1人でした。私は、もう思い切り否定したのですが、結局、市長がやるということで、非常に優秀な職員が室長になって、今ノミネートされるか、されないかというところまできました。</p> <p>だから、物事というのは、進め方次第ではどうなるかわからないなというふうに思っております。決めるか決めないかという、なるかならないかというのはユネスコで決める話になってくるので、我々ちょっと残念ながら、日本からは誰も代表が出てないみたいですので。</p>

ただ、これは本市をひとつアピールすると。どこの市もやるのですけれども、特徴を出さないといけない、日本中に知ってもらわないといけないということで、多分、その場合は狭山池しかなかったので、狭山池を世界遺産へという大きなバルーンを上げたんだなと思っています。その方向については、それは市長の政策ですし、一つまちづくりをする、大阪狭山の名を上げて大阪狭山市民の郷土愛を高めてもらうということでは、私はそれはそれでいいと思います。なるかならないかどうかと言われたら、難しいだろうなと思います。

ただ、そういうバルーンを上げてやっていくということは、それはそれなりの意義があると思います。何もないまちかと言われるよりも、本市には狭山池がありますよという。

私も最近言っているのは、北条藩の大手門をもうちょっとアピールしたいなと。今、堺の本願寺の別院にあるのですが、向こうでは御成門になっているのですが、立派なものがありますので、ああいうのもまだ残っているので、もともと城下町ではないですけども、藩邸町ですので、そういうことで本市をより一層世間にアピールして、大阪狭山市民の郷土愛を高めていきたいなというふうに思っております。

北村栄司議員

6月定例会で新市長の見解を聞いています。私たちは以前から、前の市長が世界遺産をめざすという取組みについて、めざすことについては賛成だと。できる、できないかというのは確かに非常に難しさはあるにせよ、めざす行為は狭山池の歴史、文化的な遺産、それを全国に、あるいは世界に広めていくという点で本市のプラスになるということで、めざす行為はいいですよ。ただ、それについて莫大なお金を投じるとかということがもしあれば、そのときにはきちんと物は言わせてもらいますという見解を示してきました。

新市長になって、どういうふうにお考えですかと聞いています。読み上げたら長くなりますので端的に言いますけれども、狭山池というのは非常に歴史もあって、文化的な中身もあって、狭山池の歴史と文化をより多くの市民の皆様が知っていただき、狭山池の歴史的な意義あるいは価値を再認識していただく活動を通じて本市の歴史、文化豊かなまちづくりを進めることについて、これはこれまでと同様に進めてまいりたいというふうに考えています。世界的な文化的な価値があると、世界文化遺産の価値がある狭山池はというふうに新市長は答えております。

井上健太郎議員

私も、狭山池の世界遺産については、めざすという方向は間違いなく正しくそっちに進みたいと思っています。

それは、私の代は無理かもしれませんが、自分の子どもの代のときには世界遺産の登録をめざしやということは伝えていきたいな、夢を語り続けていきたいな、つむいでいきたいなと思っています。

大阪狭山、残念ながら大きな産業があるわけでもありませんし、歴史的な文化財といえば狭山池になるかなど。

その誇りある狭山池を世界遺産になればいいよな、そういうふうに伝えていきたい。とにかく子どもたちに夢を伝えていきたい、望みを続けていきたいという思いでも、世界遺産については賛成の方向でいます。

上谷元忠議員

私、毎日、狭山池を見て育ってまいりました。当初から狭山池は世界遺産にならないと、私はゼロにどれだけ大きな数字を掛けても、1兆、1京でも掛けても、ゼロにどれだけ大きな数字を掛けても絶対になりません。狭山池になることはないです。

客観的に見れば、あの鎌倉でさえ、奈良、京都、鎌倉で日本のいろんな文化を残そうということで古都保存法ができたわけです。それから大阪府で百舌鳥古墳、中百舌鳥古墳群、それから古市のほうが登録されれば、まず都道府県、大阪で1個なれば、もうなる可能性はないです。したがって、ゼロに何ぼ大きな数字を掛けてもゼロです。なりません。

実現する夢があってもいいですけども、実現する夢がないのは全く意味がないと思います。予算をそれに費やすのは、溝に捨てて、溝が詰まって水があふれて洪水になっても困るということです。

須田 旭議員

結論は世界遺産にはならないとは思いますが、めざすことは賛成というのは当たり前の話です。めざすのはただですからそれは思っていますが、ただ実際、来年1400年記念事業があります。これを聞いても1400年なのかということすら知らない市民の方もいらっしゃいます。

今ここに来られている方は皆さん熱心な方ばかりですので、皆さん必ずそういったことではなく、狭山池に対する思いがあると思うのですけれども、市の中でもこんな温度差があつて、また富田

	<p>林市、河内長野市に聞くと、1400年記念事業といっても知らない。かんがい遺産に狭山池が登録されていて、大阪の第1号ですけれども、この間、岸和田の久米田池が第2号に認定されました。そんなことも余りまだ周知されていません。</p> <p>実際、岸和田の久米田池のほうが大きいですし、100年の差なんですけど、そういう中で世界遺産と、急にハードルが上がり過ぎていて、もっとしていくことがあるんだろうなというのがありまして、とりあえず来年の1400年事業を大成功をおさめて、そこからスタートなのかなというふうに思っています。</p>
--	---

(その他のご意見・ご要望など)

私たちの狭山地区から狭山池に関心を持って、考古学青年という末永雅雄博士がいました。この人は、考古学の世界で文化勲章を初めて受賞なさった方です。この人が狭山池に子どもの時分から非常に興味を持って、出てきた遺跡を研究して分析して、そして榎原考古学の初代の所長になられた人です。そして関西大学の名誉教授にもなられました。

狭山池築造1400年祭にちなんで、末永先生のこともとひとつ忘れないで何とか一緒にご提案していただいたら、今、子どもたちにも改めてここで、そういう文化勲章をもらった人もおられたんだなということも狭山池を含めて過去の文化遺産の位置の中につけ加えていただければ幸いかなと思っております。

(コミュニティセンター)

意見・要望など	回答・説明など
<p>市政後二十数年たっている当市に交番所、派出所が3カ所しかない。今、全国は合併等で市だけで700を超えているぐらいの数になっていると思う。私は、狭山町の時代からこちらに住まわせていただいて、大変いろんな面で市長が自慢されていたように、ある調査機関で、住みよいまち全国第4位となっている。市役所は耐震構造化された。消防署も立派なものがあるし、この大野のほうにも出張所がある。郵便局もある。府立の狭山池博物館もある。近大病院は、移転という別問題があるが、いろんな施設も充足されている中でたった一つ、派出所が3つしかないという市が全国のどこにあるのか。</p> <p>大阪府が所管する警察署を持ってきてほしいと言っているのではない。黒山警察署の分署でもいいから持ってきていただきたい。今の派出所に何かで行っても、24時間の間で、3分の2ぐらいが留守だと思ふ。分署にすれば1人から2人ぐらいの常駐の巡査あるいは巡査長、部署としては地域課でも生活課でもいいと思う。そういう方がいらっしゃるのをつくれればいい。用地は例えば南館の一部に今の派出所のちょっと大き目のものを建てれば十分じゃないかと思う。</p> <p>以前、市は3万人という人口をクリアしたというのが一つの条件です。この人口が高齢化、少子</p>	<p>本市に警察署の分署もしくは派出所を多くつくってほしいという願いは私も同じです。安全とか防犯、この面から見ましてもあったほうがいいわけです。ただ、これまで何回も働きかけを行ってきまして、難しい課題と思っています。</p> <p>狭山町の時代から本市になるときに黒山警察に何回も要求し、昭和54年ぐらいから要望書も提出して、議会としても要請書を出しております。しかし、当時大阪府警は、用地を自治体が確保しないことには話にも乗れないという状況です。当時、市になりますから当然警察署が欲しいということで、用地も提供するから何とか持ってきてもらえないかというような話を行ったのですが、結局だめでした。</p> <p>それから、金剛駅の西口の整備が行われました。そのときにも駅前にぜひ派出所をつくってほしいということで、再三、大阪府警とか黒山警察に働きかけを行っております。市長、当時の府会議員、それから議長が何回も行っています。黒山警察が言っているのは、交番は現在4カ所あります。茱萸木の交番を廃止して、そして駅前に移すのであればお受けしますという回答ですが、その地域の方からすれば、長い間そこに交番があるのにそれを廃止するということはできないと、だから新設をしてほしいということで働きかけを何回も行い</p>

化、それから若者が都会に行つて自分たちのまちに戻つてこない。代表的な例が北海道の夕張市であり、広島県の庄原市であり、2万人、あるいは1万7千人というところが市として残っているが、分署は必ずある。それを念頭に、ぜひ黒山警察署分署を大阪狭山市に持ってきていただくよう、働きかけていただきたい。

よくわかりました。ただ、広報を含めてそういうところにも触れていただきたい。市のほうがしなければ議会だよりの中のどこかに、こんな動きをしているのだけれどなかなか思うようにいかない。34年間住んでいるが、1回も見ることがない。

それと、11月号の広報誌にも、防犯活動の推進事業の中で防犯カメラの設置をして防犯環境の充実を図りましたとあるが、非常に役所的な文言である。自治会の会長も、小さな地区だが設置した。議員はご存じのとおり、15万円の補助金が出るが実質的には50万円ぐらいする。管理する人も決めないといけない。管理人を置いていないマンションあるいは戸建て住宅で構成されている自治会はなかなかできない。

だから、わかるように経緯もどこかに出していただきたいと思いますという切望である。

まして、用地も市が確保しますと、府が財政難だったら市のお金でも出してやりたいということまで言いましたが、結局、こうした要請には応えていただけませんでした。

犯罪とかあるいは交通事故数とか人の流れとか、そういうものを判断しまして、新たに派出所を設けるという条件を満たしていないというふうに言うんです。府のほうは、警察署の縮小、あるいは人を配置することも抵抗が強いのです。1カ所新設しますと大体9人の勤務員が要るそうです。移転をするのであれば6人で済みますと言うんです。茱萸木を廃止して金剛の駅前に持っていけば6人で済みますが、これもなかなか難しいですよというふうなことでありました。

大阪府内でいいますと、市段階で警察のないところは藤井寺市と泉南市と大阪狭山市、この3市です。羽曳野警察で藤井寺市は一緒ですね。向こうは泉南市とか阪南市が一緒です。また熊取町が一緒です。それで、以前、交野市が新たに本市よりちょっと先に市になりました。そこに警察ができました。そのときは、交野市と周辺を合わせますと世帯数で四十数万世帯を管轄していると。だから2つに割っても20万以上の世帯ですと。黒山の警察は美原区と、それから東区と本市、この3つで16万ほどの世帯数しかないのだから2つに割るようなことは一切考えていないというのが黒山警察の答えでありました。

しかし、大阪府内の犯罪状況とか本市の中でも色々な事件が起こってきたりしていますから、当然、働きかけをさらに継続していかないといかんのではないかなというふうに思っていますが、大変厳しい課題であるというふうに私どもは認識をしております。

金剛駅前が市民のボランティアで今、防犯ステーションが入るようになったというのもその経過の中で来ているものだと思うのですが、これまで大変頑張ってきたのだけれども、まだ実現していない。ただ、まちの安全・安心という側面から考えれば、また議員から提案をしていくということでもよろしく願います。

この議会報告会が今回で4回目です。2年前から通年議会にして、皆様のご意見を聞けるというような体制になってきました。そうして市民と議会とがコミュニケーションを図って一緒になってまちを盛り上げていくという趣旨でやっておりますので、今後もこういう報告のやり方というものは議会も考えてまいります。また議会報告会のときもぜひご参加いただけたらと思います。よろ

<p>今、高齢化・少子化、こういう中で福祉の充実というのがあるが、地域の社会福祉協議会の事務所が、JR貨物でお役御免になった貨車を一つ、車輪を剥がしてぼんと置いたような、色合いもくすぶっている。玄関のところはふるさと会館というか、前にあって非常に暗い。もっとカラフルに建てかえしてほしい。素人考えだが、耐震構造を入れても7千万円から8千万円でできると。一つのプランを持って2年後、3年後にはするのだと。何とか1年ずつ1千万円でもいいからそちらに積み立ててほしい。</p> <p>それと、近隣都市の河内長野市、富田林市、松原市の社会福祉協議会の事務所をぜひ一度見てほしい。今の社会福祉協議会の事務所というのは、大阪狭山市の南館にある支援センターのところと両輪でこれからの狭山の核になっていけないところの一つである。それが、近隣と比べるまでもなく、私たちのいる地区会館、自治会館よりももっと汚らしい。中で働いている職員もかわいそうである。</p>	<p>しくお願いします。</p> <p>社会福祉協議会の事務所の整備について、過去の経過を申し上げますと、最初は、社会福祉協議会の事務所は市役所にありました。その中から発展させていただいたのですが、どうしても福祉という観点から高齢者や障がい者の施設を中にということで、今現在、福祉センターの中、さつき荘、さやま荘の横にあります。大阪府内にプレハブというのは2カ所だけ、本市と先ほどお話のあった河内長野市、実は河内長野市も立派な2階建てですが、プレハブ住宅です。ほかの社会福祉協議会においては、福祉センターであるとか福祉会館の中に入れておられます。</p> <p>今現在、社会福祉協議会本体の中には総務と、地区福祉委員会業務、共同募金であるとかそういった業務をやらせていただいて、地域包括、基幹型の相談支援センター、生活困窮者の生活サポートセンター並びに権利擁護事業を南館で行っております。</p> <p>本来の姿ですと、こういった4つの事業と社会福祉協議会本体の地区福祉委員会事業、小地域ネットワークというのは一緒にあるべきだと思います。コミュニティソーシャルワーカーも、現在、離れている状況です。まず建屋を新築というのは現状では難しいと思いますが、今後このような事業が一体化することによって相乗効果を生めるように、市当局にも相談はしていきたいと思っています。</p> <p>少しずつ場所的に考えて検討していきたいと思っていますので、ご理解のほどよろしくお願ひいたします。</p>
<p>11月14日に行われます大阪狭山市産業まつりの件ですが、大阪狭山市も主催団体に入っているが、税金は幾らか投入されるのか。</p> <p>税金が使われているということで、一市民として質問するが、これ、裏に産業フェア展示販売ブースというのがあるが、狭山の業者より狭山以外の業者というののがかなり多い。やっぱり大阪狭山市の立派な産業、4K商品もあれば浅野歯車もある、ミノルタもある、こんな大きな会社の展示ブースがないが、要請されたのか。</p> <p>私が一番問題にしているのは、ここに大阪狭山市の職員も当日、勤務扱いで参加していると思う。そういう中で自衛隊の車両が展示されるというのが一番問題だと思う。なぜ大阪狭山市の産業まつりに自衛隊が協力しないといけないのか。確かに</p>	<p>これは、農政商工グループと商工会に委託をした状態で、150万円だったと思いますが費用が出ているはずですが。</p> <p>実行委員会形式になっているのですが、全ての商工会員には募集をしています。募集しているけれどもなかなか参加が少ないということです。</p> <p>今、ちょうど大阪ミュージアム構想だと思うのですが、河内長野市、富田林市、河南町等々と商工会が連携をし始めています。お互いがお互いのところに行って事業を発表するというような連携をしています。そういう中で本市はなかなか出て行けずに、逆に向こうからは来るというのが今現実になっているということです。</p> <p>戦争との結びつきとか法案の結びつきで今言われている部分があるのですが、自衛隊は災害復旧とかでも協力いただいていますし、この前の総合防災訓練でも自衛隊も来ていただいて、ともに展示も協力いただいている部分もあります。そ</p>

それは自衛隊も色々なイベントに参加したいと思う。市民に広くこんなことをしますよ、やってもいいですかと、税金を使う事業については責任を持たないといけないと思う。

安保法案が危険だと、国民の7割、8割が不安を持っている。そういう中で、産業まつりと自衛隊と何ら関係ないと思う。産業まつりというのは大阪狭山市内の物づくり、生産者の農業している人の農業製品を出す、産業、そういうものを展示するものであって、何ら自衛隊とは関係ないと思う。

消防車があるのは市民の暮らしを守るということでまだしも、その辺ちょっと意見を聞きたい。

ういった中で、やはり地域との密着という部分も少なからずあるのかなと思います。市に対しても協力いただいていますので、その辺は全く否定するというものでもないで、今回、産業まつりとのつながりがどうだと言われると疑問に思われる点もあると思うのですが、自衛隊を全部否定するというのは少し難しい点があるのかなとは思っております。

自衛隊が展示されるということに対しては、災害復旧とかそういう部分でも協力いただいていますし、安保法案とは関係なく、今回は来ていただいても問題はないと思います。

ここで自衛隊に来ていただくのが良いか悪いかというのはなかなか申し上げにくいと思うんですが、災害の支援に行った先では100%、自衛隊が一番先に入られて道をつくられて、そこに私達は支援に入ります。

ただし、それと今回なぜ自衛隊が産業まつりに入られたかというのは、やはり検討する余地はあると思いますが、実行委員会形式でやられている中で、どういった意見が出ていたかというのも伺わないといけないと思います。

自衛隊には自衛隊法というのがありまして、それで協力をしなければならないという面もあるんですが、そこには自治体の自主的な判断によるということになっています。

防災訓練の場合は、これは災害のときに自衛隊にも活躍してもらおうということは当然あり得ますが、産業まつりに自衛隊が参加するということについては望ましいことではないと私は思います。

私の意見としましては、自衛隊法、PKO、市民を守るという意味のカテゴリーの中に入るのはないかなと思います。それともう一つは、狭山池まつりなんかもそうですけれども、その中で一般募集をするときに一応文言として入れているのが、そういう市民が集まる祭りにおいて政治的、宗教的、そういうものは申し訳ないけれども一切排除するという文言を入れています。だから、今おっしゃっているその部分を例えば安保法制とかそういう集団的自衛権とかというものとくっつけてじゃなくて、今現在私たちに協力してくれている自衛隊という形で見ただけならありがたいかなと思います。

私の知る限りでは、もともと産業まつりという名前ではなくて消費者感謝デーということで、私

私は防災についてのことは一切触れていない。

<p>防災は、それは自衛隊、確かに協力関係にあると思うが、それこそ産業まつりについて、やっぱり産業は産業だけのお祭りでやってほしいということ。それは、やるからには市の税金を使う以上は、実行委員会がやっているからどうか、税金を使う主催団体の場合は全ての議員はそれの中身を掌握してほしい。議員はやっぱり仕事上、税金を使う事業については一通り、掌握するというのが仕事の一環だと思う。</p>	<p>たちは野菜を売ったりしていました。それが数年前からJA（農協）と商工会が連携して農政商工グループと一緒に市民協働グループができて、そこで議論をしている。その会議の中では、恐らくより多くの市民の方々に来てほしいという思いでそういう企画も入ったのかなど。誰かが勝手にやったということではないと思いますので、ご了承承願えたらと思います。</p>
<p>今、6人に1人が子どもの貧困ということで全国的にも言われている。平成25年に国の子ども貧困対策法もできたが、ほとんどこれは予算がついていない。情報ばかりで予算がついていないということで、本当に貧困をとめるということにはなっていない。しかし、自治体の責任もここには明記されているが、大阪狭山市としては担当部局も決まっていないという状況だとお聞きした。</p> <p>シングルマザーの方の貧困がすごく多いということと、障がい者、母子家庭で生活保護の利用率が減っているということで、それでどれだけの相談件数がある、そのうちどれだけ生活保護が受けられたのかというデータもないということであった。</p> <p>それと、就学援助金については、4月に支給してほしいと思う。4月に申請書が配布されて、結局、お金が届くのは9月ということである。やはり中学校になると制服も買わないといけなし、何十万円というお金がかかるので、ぜひこの辺の支給も早めていただけたらと思っている。</p>	<p>9月定例会議会で貧困問題について一般質問がありました。この件については、先ほどの就学援助の早期実施、要するに4月申請、9月支給、それが時間をもっと早められないかということでした。これについては行政のほうもよく考えていくという答弁だったと思います。</p> <p>このことについては、各議員それぞれ問題意識を持っているかと思しますので、これは議会の中でまた議論していきたいと思えます。</p> <p>子どもの貧困の問題は確かに今深刻で、色々な条件はあると思うのですが、経済政策だとか雇用の問題とかの改善というのは当然、国や大阪府でやってもらわないといけません。</p> <p>ただ、市としてはそういう人たちに対しての施策をどう充実させていくかということになりました。貧困と格差が広がってくるその要因というのがあるんですが、特に学校関係でいいますと、対応が必要な子どもが増えてきています。したがって、一クラスの人数を減らす、いわゆる35人学級を進めていくということで、一人一人に行き届くような教育をやっていく必要もあるし、今度、子ども・子育て新制度というのが出てきましたが、そういう中でも子どもの視点に立った保育とか教育を確立することが大切です。先生方の配置とか指導員の配置とか、そういうことも十分考えて対応できるようなことにしていく必要があるかなというふうに思っておりますので、また議会でもそういう点は取り上げたいと思えます。</p>
<p>高齢者の問題について、特に介護保険のことに、先ほどから少し出ていたが、包括支援センターについては、今、大阪狭山市では1箇所しか置いていない。これは少なくとも中学校レベルぐらいまでの範囲でつくってほしい。歩いて10分程度で行ける場所でない、高齢者になると、なかなか行きにくい。</p> <p>本当は小学校区別ぐらいが理想かと思うが、最低、中学校レベル、狭山でいうと3箇所、だからその程度の範囲で行けるように、例えば当面は出張所のような形のものであってもいいと思うが、ぜひ、そこを充実させていくということが必要で</p>	<p>介護保険の件で地域包括支援センター、包括ケアですね。これは本当に私も、実際、身近にありがたさを感じているところです。今、地域包括支援センターへ行って相談すると、介護士の方がすぐに来てくれます。本当に丁寧に相談に乗ってくれますので、これからの経緯を見ながら、そのセンターが中学校区まで運んでいくと、これには費用的なものもありますけれども、議員としてみんなこれは今、課題として持っておりますので、今後、皆さんに発表できるかと思えます。</p>

<p>はないかと思うので、議員の方々もその辺は押さえていただきたい。</p>	
<p>狭山駅、大阪狭山市駅に駅員が配置されていないが、これを何とかしてほしい。</p> <p>それから、さっき言われたように警察署、各駅に駐在所を置いてほしい。高野線の滝谷の駅でもちょっと行けば駐在所がある。金剛にないというのは、これは不思議ではない。金剛も富田林まで行けば駐在所はあるが、駅前に駐車場を作るんだったら大阪狭山市に駐在所を置いてほしい。</p>	<p>狭山駅と大阪狭山市駅の件については、議員が何回も本会議で質問し、早く解決してほしいということ言っています。運賃が安いから鉄道がもうからないからということでやっているのだらうと思いますが、鉄道を運営している会社は、もし、もうからなければ運賃を上げるという申請をしてもやっぱり安全性を優先すべきだろうと私は思っています。</p> <p>また、狭山池築造1400年祭のときにどうするかはまだ解決されていないのですが、皆様のご協力を得ながらぜひとも改善させたいと思っております。</p> <p>交番の件は、先ほどの説明でご了解いただきたいと思っております。</p>
<p>葬祭場を何でSAYAKAホールの前に持ってきているのか。南海が強引につくったと思うが、狭山に対して失礼だと思う。南海は、各駅に葬祭場をつくっている。別の場所へ移してもらおうわけにいかないのか。</p>	<p>葬儀会館については、民間の関係ですが、実際あのようになって、地元もまだ反対の看板を上げています。余り反対の看板を上げているから、撤退するのと違うかというような話もありますけれども、ああいう良い場所に警察署や行政の関係の建物ができたらいいなと思っておりました。もし何かあったときには、そろって反対すべきは反対するということではないといけないという感じがしています。皆さんと我々が連絡を密にさせていただいて、何か問題が起こりそうだというときにすぐに対処するというのを今後やっていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p>
<p>私、さやか観光会という、観光のボランティアをやっていて、きのうも大阪狭山市駅からおいて、ここまで来てくださいという看板を持たないといけない。駅で誰にも何も聞けない、大阪市内からお客さんが何人か大阪狭山市を歩くのに来られた。それで今すごく困っている。</p> <p>もうすぐ狭山池築造1400年になるのに、大阪狭山市駅に誰もいなかったら狭山池はあちらですという、それを案内する人もいないというので、今とても困っている。今から南海電鉄に相談してもいいし、市の何かをつくってもいいんじゃないかと思う。駅に誰もいないというのは本当に困るし、おかしいことである。</p>	<p>駅の無人化の問題については、狭山池築造1400年という一つの貴重な年が来るので、これを契機に駅員を事業者と共同でもいいので配置していただきたいと思っています。要するにシルバー人材センターからでもいいですし、市民からでもいいですし、そういう人たちを雇用して、鉄道の安全や運行について、責任はとれませんが、まの顔として迎え入れるという、これは別に1400年だけでなく、ふだんでもあるべきことだろうと。ましてや大阪狭山市駅の前は踏切が危険な状態ですので、そういう意味合いを持つということで提案をしてきました。</p> <p>今回、市としては要望書を持っていくということで動きがありましたが、残念ながらできないという返答をもらっているということです。</p> <p>ただ、特に高齢者の方々と若い女性が夜は怖がっておられますし、大阪狭山市駅については踏切の通行が危ないということで、動きとしては忘れずにやっておりますので、ご了承をお願いしたい</p>

<p>マイナンバーについて、内容がよく理解できないので、どこかでお知らせをしてもらえないか。</p>	<p>と思います。</p> <p>各自治会、地区会でしたら出前講座をしていただくことは可能です。また、これは100%のセキュリティという問題で賛成した議員も若干の不安を抱いていますので、そういう面でこれは問いかけていく課題になります。行政の説明が至らなければ、今後、議員からも行政に申し伝えていくということで、ご理解をいただきたいと思いません。</p>
<p>公立幼稚園と保育所の統廃合についてということで前にもお聞きしたが、今、公立幼稚園の定数が半分ぐらいになっているということで、何とか市民の財産を守っていく立場で工夫をしていってほしいと言っていたが、現状は変わらないみたいである。</p> <p>全体像としてどうなるのかというのを何か示していただきたい。なし崩し的にこども園ができ、幼稚園も閉鎖されるという感じになってきている。狭山神社の前に今、※こども園を建設しているが、ビジョンとしてどういうふうになっていくのかということをお願いしたい。</p> <p>※こども園でなく、保育所です。</p>	<p>先般、市長と教育長、教育委員、また執行部が会議をする総合教育会議が開催されました。</p> <p>今、幼稚園、また3年保育云々の新子育て法の関係で、それを議論していかなければならないということで、その最初の議論が前回の総合教育会議で持ち上がってきました。</p> <p>幼稚園も、山本幼稚園が4年前に休園になり、一時は廃園かなというところを教育施設として残してほしいということで全議員が教育委員会に要望しました。結果、1年のブランクはありましたが山本保育園として残り、それがこれからこども園となっていくということで地区では喜んでおられますし、また待機児童についても対応はできてきたところですので。今おっしゃっているようなことも前々からいただいている課題ですので、もう実際に動き出しました。</p> <p>幼稚園児が、山本幼稚園のときもそうですが、10人台が来年か再来年ぐらいに来るだろうという予測が残念ながら出てきています。もう少しお時間をいただいて、今後、議会のほうもチェックをしていきますので、ご理解をよろしく願います。</p>

### (事前にお寄せいただいたご意見・ご要望など)

<p>今回の議会報告会の開催に当たりまして、事前にファクス等で3件のご意見をいただきました。</p> <p>●1件目の意見として2点です。</p> <p>1点目として、魅力あるまちづくりについて、今我々が住む地区での課題は、自治会退会率の急進もその一つである。つまり、自治会に加入しなくても日常生活に支障がないとの住民意識の思い、底にあるものを否定できない。自治会員の数値は、市でも過去の地区単位での会員率データを把握しているはずであり、これを年度別、地区別にグラフ化するなど全体像の動向を可視化すれば、市民意識に資する可能性もある。データの可視化など新手法を駆使され、一般に広報するなどの対処方を全議員も真剣に議論願うというもの。</p> <p>2点目として、代表及び個人質問では事前通告に従った何点かの質問を述べられますが、可能なら質問の冒頭に数点の質問の全項目を述べていただければ、そうすればインターネットなどから見られる方も質問の全体像を把握した上で効率的に視聴できると思う。ICT時代の映像に対処する可能なスタイルの議会情報発信への改善を期待したいという意見。</p> <p>●2件目の意見として3点です。</p> <p>1点目として、広報誌10月号に掲載の都市計画道路の見直しについて、本来のメインルートそのものに計画が甘過ぎるよと感じ、事業計画そのものをどのように考えているのかという意見。</p>
--

2点目として、人と自然が共生する環境に配慮したまちづくりをうたっているが、少し方向が間違っているように思われる。陶器山とあまの街道の四季折々がありますが、里山の一部使命が失われつつあり、樹木・鳥・蝶など、陶器山全体が準絶滅危機となりつつある中、市の歴史街道でありウォーキング等の森として愛されており、森そのものも含めて目を向けてほしいという意見。

3点目として、教育、福祉及び介護の問題で、子育て教室（格差貧困）、高齢者（ひとり住まい、ケア、介護）について、市としてどのようなサポートと事業計画を考えているのかとの意見。

●3件目として、警察署分署の設置と社会福祉協議会事務所の整備について。この3件目につきましては、お電話で頂戴したもので、11月8日の議会報告会にご提案者ご本人が会場にお越しになり、意見を直接お聞きしました。

**頂戴しましたご意見、ご要望につきまして、今後の議会活動や議員個々の活動の参考とさせていただきます。議会のほうでも議論をしていきたいと思っておりますので、また皆様にご報告をさせていただきますと思います。**

**なお、1件目の2点目については、議会ホームページで議員質問の映像配信をご覧いただくときに、冒頭に議員名と通告の全項目を示し、質問の全体像がわかるようにいたしました。**